

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・丸木美花・ 大野元毅・柴 徳昭	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン 作家 ア レンジャー		

【科目の目的】

プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。
1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。
座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々で能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしていく。
修了発表会でフルコーラスの楽曲を作ることを目標とする。

【科目の概要】

作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「作曲ゼミ（週2回）」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」の7つの授業で構成される。
下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。
作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。

【到達目標】

- A. コード進行を作成できる
- B. メロディを作成できる
- C. 楽曲のミックスができる
- D. 楽曲のアレンジができる
- E. フルコーラスの楽曲を作成できる

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 E	一人で1コーラスの楽曲を作成できる		講師の手を借りて1コーラスの楽曲を作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要

【教科書】

授業内で使用する映像や動画。実演奏。

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、学習した楽器のまとめを14、15回目にて授業内発表を行う。
これを60%（知識のほかに感想・思考・自分の作品にどう活かせるかを発表させて評価する）
授業後に提出するレポートや、主に学習に取り組む態度を評価し平常点40%とする。

演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2026	
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック②	長期休暇後のレベルチェック	1	コース講師評価	新たな知見を得ることができる	3	
			2	自己評価	前期の反省を生かすことができたかを確認できる		
			3	目標設定	評価を踏まえ、後期の目標を設定する		
2	楽器レッスン①	基礎知識	Vo	自分の声の性質	自分の声について理解できる	3	
			Gt	正しいフォーム	演奏時の正しいフォームについて理解できる		
			Pf	正しいフォーム	演奏時の正しいフォームについて理解できる		
3	楽器レッスン②	基礎練習	Vo	既存曲の歌唱	既存曲を歌唱しアドバイスをもらい、改善できる	3	
			Gt	ローコード、バレーコードの押さえ方	各種コードの押さえ方を理解できる		
			Pf	コードの押さえ方	各種コードの押さえ方を理解できる		
4	楽器レッスン③	実践	Vo	既存曲の歌唱②	自作曲を歌唱し、アドバイスをもらい、改善できる	3	
			Gt	既存曲の演奏	スムーズなコードチェンジを行えるようになる		
			Pf	既存曲の演奏	スムーズなコードチェンジを行えるようになる		
5	音作り①	生音	1	各楽器の種類	各楽器の種類を知ることができる	3	
			2	楽器附属のパラメータ	楽器附属の各種ノブについて理解できる		
			3	アンプ	アンプのパラメータについて理解できる		
6	音作り②	シンセ	1	シンセの種類	シンセの種類を知ることができる	3	
			2	各種波形	各種波形について理解できる		
			3	各種パラメータ	各種パラメータについて理解できる		
7	音作り③	エフェクト	1	ディストーション	ディストーションの掛け方について理解できる	3	
			2	モジュレーション	モジュレーション系FXの掛け方について理解できる		
			3	空間系	空間系FXの掛け方について理解できる		
8	作曲ゼミ①	DAWの基礎知識	1	打ち込み	MIDIの打ち込みができるようになる	3	
			2	楽器のアサイン	トラックの立ち上げと楽器のアサインができるようになる		
			3	エフェクトインサート	インサートにエフェクトを挿すことができるようになる		
9	作曲ゼミ②	譜面を音で再現	1	譜面メロ打ち込み	譜面通りにメロの打ち込みができる	3	
			2	譜面コード	譜面通りにコードの打ち込みができる		
			3	楽器の選定	適切な楽器を選ぶことができる		
10	作曲ゼミ③	自作曲制作①	1	リファレンス選定	参考楽曲を決めることができる	3	
			2	使用楽器選定	使う楽器を選定できる		
			3	BPM設定	楽曲のスピードを設定できる		
11	作曲ゼミ④	自作曲制作②	1	リファレンス楽曲分析	参考楽曲を分析し、取り入れる項目を明確化できる	3	
			2	コード進行決定	ダイアトニックコードを使いコード進行を作成できる		
			3	メロディ作成	歌のメロディ、コーラスを作成できる		
12	作曲ゼミ⑤	自作曲制作③	1	各種楽器の打ち込み	ジャンルにより必要な楽器を使いフレーズを作成できる	3	
			2	カウンターメロディ	歌メロに対するフレーズアレンジをすることができる		
			3	グループ	曲全体のリズムを各楽器でコントロールする		
13	作曲ゼミ⑥	自作曲制作④	1	空間処理	空間系FXで音を馴染ませることができる	3	
			2	ボリュームバランス	各楽器の音量バランスを整えることができる		
			3	最終チェック	完成した楽曲を細かくチェックをして手直しをする		
14	発表会準備	前期発表会に向けて楽曲を仕上げる	1	メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる	3	
			2	ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3	アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	修了発表会	1年間で得た技術で楽曲を作製する。(フルコーラス)	1	プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる	3	
			2	知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3	講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等